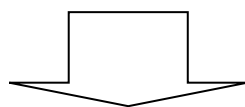


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なことを落とさないようにしながら、興味をもって聞くこと。</li> <li>・主語と述語の関係に注意して、読んだり書いたりすること。</li> <li>・とめ、はね、はらいなどを正確にとらえて字形を整えて書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手本となる児童を賞賛し、話を聞く姿勢を示す。ペアやグループでの話し合いをさせ、話を聞き合う場面を設ける。</li> <li>・読ませたい文の主述の関係に印をつけて視覚化する。</li> <li>・漢字ドリルや国語のノートを活用し、とめ、はね、はらいなどを丁寧に書く指導を継続して行う。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加減法の計算が正確にできること。</li> <li>・乗法の意味を知り、計算が確実にできること。</li> <li>・数を十や百を単位としてみるなど、相対的な大きさについて理解すること。</li> <li>・量の単位や時間について知り、用いることができること。</li> <li>・図形を構成する要素に着目して図形を理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・反復練習の機会を意図的に設ける。</li> <li>・絵や図を用いた乗法の問題作りを積極的に行う。</li> <li>・数を様々な形で捉えることを、話し合い活動などを通して実践する。</li> <li>・既習の単位の使い方、時刻・時間の読み方を学習内容に合わせて活用する。</li> <li>・問題解決の際にノートなどに考えをまとめる時間をとって自分自身で絵や図を書かせる。</li> </ul>
生活科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにすること。</li> <li>・観察や見学したことを動作、劇化、絵や文章などの方法で表すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探検や見学といった学習を通して、地域の人々と関わったり魅力的な場所などについて関心を広げたりもっと知りたいという意欲をもたせるようにする。</li> <li>・表現方法について教師が提示したり、動作化したり、詳しく表現できている児童のカードや発表を紹介したりする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に進んで取り組み、きまりを守り仲良く運動すること。</li> <li>・場の安全に気を付けて運動することができること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い手本となる児童の姿を取り上げ、互いに動きを見合う場面を設定し情報を共有する。ペアやグループといった小集団活動を行い全体の活動へつなげる。</li> <li>・運動における危険について予想させ、危機回避能力を育てる。場面によって教師が危険な運動を実際に見せて指導する。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。</li> <li>・うそをついたりごまかしをしたりしないで素直に伸び伸びと生活する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の様々な場面において、具体的な指導を積み重ねる。</li> <li>・日常の体験を想起しやすい資料を用意し、中心発問を考え、登場人物の気持ちになって考えたり、自分の生活と比べて考えたりすることができるようにする。</li> </ul>

音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむことができるようにすること。</li> <li>・思いをもって表現したり、曲や演奏の楽しさを見出し音楽を聴いたりできるようにすること。</li> <li>・音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けるようにすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今月の歌や季節の歌など、教科書、歌集を活用し、歌のレパートリーを広げ、みんなで歌う楽しさを味わえるようにする。また、友達と声や体、身の回りの様々な音の特徴に感じ取って音遊びの経験をくり返し行い、音や音楽に親しむようにする。</li> <li>・電子黒板を活用し、ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業を目指す。児童が思いをもって表現するために、歌詞や旋律、生活経験からイメージを広げていくことができるように学習過程を工夫する。また、音楽を聴いて、曲想や音楽の構造のかかわりを児童自らが自分なりに感じ、気付いていく過程を大切にする。</li> <li>・1時間1時間のねらいを明らかにする。旋律の流れやリズムに合わせて意識的に多く体を動かす活動を取り入れる。その際、一人で、ペア、グループなど友達と関わる場も設定するようにする。</li> <li>・自分の声・音、友達の声・音をよく聴くことを常に促し、みんなで合わせる楽しさを味わわせるようにする。また、児童の発達段階に即した教材を用意し、児童の思いやイメージを大切に学習過程を工夫し、技能が無理なく身に付くようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚や気持ちを生かしながら楽しくつくること。</li> <li>・用具を正しく扱って、表し方を考えて表すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の作品に対して自信がない児童に対しては、それぞれの発想の良さを認める機会を多く増やす。</li> <li>・用具の使い方や動かし方などの知識を身に付けさせ、表し方に生かせるようにする。</li> </ul>



	成果○ と 課題▼	
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループでの話し合いの場を多く設け、活動の時間を確保することで、話題について尋ねたり、応答したりできるようになってきている。</li> <li>○書く活動に多く取り組む中で、拗音、促音、撥音などの表記ができ、助詞の「は」「へ」「を」については、身に付いてきた。</li> <li>○読むことの学習では、主語と述語を押さえることができている。また、文章の叙述を基に登場人物の行動や様子をとらえることもよくできている。</li> </ul>	

算 数	<p>○数を数えたり、長さ・かさを測ったりする活動を通して、おおよその感覚が身に付いてきている。</p> <p>○既習事項を振り返って自分の考えをまとめるように声掛けすることで、考えをもつことができるようになってきている。また、自分の考えを、積極的に言葉やアレイ図、数直線、テープ図などを使ってノートに書く児童が増えてきている。</p> <p>○実物投影機やミニホワイトボードを活用して、考えを共有することができた。</p>
生 活 科	<p>○自分たちの住んでいる地域の商店街へ実際に行って、インタビューをしたり、実際のお店の中を見せていただいたりすることで、普段見えない部分が分かり、住む地域への愛着が形成された。</p> <p>○自分たちで育てた野菜や、花を観察する視点を1年間通して与え観察カードを書くことで、成長の様子をとらえることができた。</p>
体 育	<p>○学習ごとのめあてを明確にしたワークシートを用いることで、単元ごと、1時間ごとにめあてを意識して学習に取り組むことができていた。</p> <p>○様々な動きを取り入れ、互いに見合う時間を設けることで、よりよい動きが引き出されていた。</p>
道 徳	<p>○児童が自分のこととして考えられるような資料を選び、中心となる発問を設定することで主題について考えることができた。また、役割演技などにより、自分に引き寄せて考えることができた。</p> <p>▼基本的な生活習慣については、保護者の協力を得ながら、自分の行動を振り返り実践できるような指導を継続していく必要がある。</p>
音 楽	<p>○歌唱では友達と声を合わせて無理のない声で歌う喜びを味わうことができるようになり、意欲的に表現する児童が多い。また、曲の感じに合わせて思いを込めて歌えるようにもなっている。</p> <p>○器楽では基本的な奏法を身に付け、音色に気を付け、意欲的に学習する姿が見られる。</p> <p>○奏法や音色を工夫し、友達と協力しながら音楽を特徴付ける要素を意識して音楽づくりをすることができた。また、音楽の諸要素と結び付けて、体を動かして音楽を聴く鑑賞の活動を行うことができた。</p> <p>▼表現ではさらに自分の思いや意図に合った表現ができるようにすること、鑑賞では、言語活動をさらに進めることが課題である。</p>
図 工	<p>○年間を通して、意欲的に題材に取り組んだ。</p> <p>○自分の作品について、積極的に発表する様子が見られる。また、友達の作品についても、口頭で伝えるだけでなくカードに書くなどすることで、よいところを見つけることができた。</p> <p>▼絵の具での色の塗り方やカッターの使い方、まだ慣れない様子の児童に対しては、丁寧に指導していく。</p>